

現在社会的に深刻な影響を与え続けているコロナウイルスですが、みなさまの中にも歯科医院におけるコロナウイルスへの感染対策を心配なさっておられる方が非常に多いと思います。

現時点において、空気感染を起こすのか？飛沫や接触における感染しか起こらないのか？などはっきりした情報が分からないままですが、考えられるすべての可能性に対して予防の手段を行う事が最善策であることは間違いのないと思います。

一般的には、不特定多数の方がいる場所には極力出ていかない。

どうしても出ていく必要があるのならばマスクの着用をし、その場にいる方々との接触は控える。

電車やバスなど公共の乗り物に乗る際には、手すりや吊革などに気を付ける。

また、帰宅時には入念な手洗いとうがいをを行い、最も近い家族間での感染を起こさないように配慮する等です。

歯科医院で大事にしなければならないのは「スタンダード・プリコーション」(標準的予防措置策)と呼ばれる考え方に基づいた体制が医院として整っているかです。

「スタンダード・プリコーション」とは感染症の有無に関わらず、あらゆる患者さんや利用者の方に対して『感染があるかもしれない』という可能性を考慮して行われる予防行動です。

[汗を除くすべての血液・体液・分泌物・損傷のある皮膚・粘膜には感染性病原体を含む可能性がある] という原則に基づき手指衛生や防護服(マスクやグローブ、防護メガネなど)の着用を徹底し、感染リスクを減少させる予防策を示しています。

例えば、ウイルス感染を起こしているが無症状の為、本人にも感染の自覚がないまま受診なさっていると仮定して、患者さんの診察は開放的で多くの方と同じ空間になることがない様なるべく個室での診療がよいでしょう。

個室にも常に換気がされていることが大切です。

当医院では今まで以上に体制を整え、室内換気をし、なるべく患者様の距離をあける様にチェアの案内をしております。



また虫歯の治療や入れ歯の治療で歯を削っているときにその切削粉がウイルスと一緒に室内に飛び散らない様口腔外バキュームと呼ばれる吸引器を設置・使用し、今まで以上にあらゆる感染リスクを減少する様に努めています。

治療に使用する器具や材料などは単回使用・ Disposable であることはもちろん口の中に使用される医療機材はウイルスを死滅させることができる高いレベルでの滅菌を行い安心して診療を受けていただく様に努めています。

日々このようなことの積み重ねが結果として感染リスクのコントロールに大きく影響を与えると考え、今まで以上に清潔な院内を心掛けております。

新型コロナウイルス対策について

当院では新型コロナウイルス対策として以下のことに取り組んでおります。

院内感染予防として、普段から行っている取り組み

- 1 マスクとグローブ（医療用ゴム手袋）、ゴーグルの着用。
- 2 グローブの患者さまごとの交換。
- 3 患者さま用のエプロン、コップは使い捨てにし、患者さまごとに廃棄。
- 4 治療器具は、ドリル等のハンドピースを含め患者さまごとに交換し、消毒、滅菌。
- 5 必要時の口腔外バキュームの使用。
- 6 診療台や操作パネル等の消毒液による清拭。
- 7 スタッフの頻繁な手洗いと手指消毒。
- 8 診療室内での医療用空気清浄機の稼働。
- 9 次亜塩素酸空間除菌・脱臭。



新型コロナウイルス対策として追加で行っている取り組み

- 10 待合室への消毒液の設置。
- 11 ドアノブや取っ手、手すりの消毒液・次亜水による清拭。
- 12 定期的な換気。
- 13 患者様への来院時の検温
- 14 スタッフの検温